

U.S. Indicators

発表日: 2022 年 9 月 16 日(金)

米国 減速傾向もまだ堅調(8 月小売売上高)

～自動車、飲食が小売売上を押し上げ～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 050-5474-7493)

22 年 8 月の小売・飲食サービス売上高は、自動車の増加を背景に前月比+0.3%（7 月同▲0.4%）と市場予想中央値（ブルームバーグ集計）の前月比▲0.1%に反して増加した（6、7 月合計 0.2%下方修正）。一方、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.3%（7 月同 0.0%）と市場予想中央値の前月比 0.0%を下回った（6、7 月合計 0.2%下方修正）。また、小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比+0.2%（7 月同+0.2%）と小幅増加にとどまった（6、7 月合計 0.1%下方改定）。8 月のコア小売売上高は、ロシアのウクライナ侵略戦争によるエネルギー・食品価格の上昇、金利の急騰、サービス消費へのシフトなどの動きが続くなかで、緩やかな拡大となった。ただし、3 ヶ月移動平均・3 ヶ月前対比年率で 8 月に+8.4%（7 月+10.3%）と高い伸びを保っており、小売売上高の拡大モメンタムは依然堅調強いと判断される。実質給与所得の増加傾向、人の移動の活発化等を背景とした需要の強さや価格上昇を映じて、堅調さを維持した。

前月比で主要 13 業態のうち 5 業態（7 月 7 業態）が縮小した一方、8 業態（7 月 6 業態）が拡大した。前月からの変化をみると、家電、薬局、無店舗小売が減少に転じたほか、家具、ガソリンスタンドが減少幅を拡大した。一方、自動車・同部品、衣料品、百貨店など一般小売、その他小売、飲食店が増加に転じたことに加えて、食品・飲料、スポーツ用品・本・趣味用品が加速した。また、建設資材が鈍化したものの高い伸びとなった。

8 月小売売上高（前月比：+0.29%）の主要 13 業態の前月比寄与度をみると、押し下げ寄与の業態は、大きい順にガソリンスタンド（▲0.40、7 月▲0.23%）、無店舗小売（▲0.11%、同+0.29%）、薬局（▲0.03%、同+0.02%）、家具（▲0.02%、同▲0.01%）となった。一方、押し上げ寄与の業態は、大きい順に自動車・同部品（+0.52%、7 月▲0.36%）、飲食店（+0.14%、同▲0.10%）、建設資材（+0.07%、同+0.08%）、食品・飲料（+0.06%、同+0.01%）、百貨店を含む一般小売（+0.05%、同▲0.04%）、その他小売り（+0.04%、同▲0.03%）、衣料品（+0.02%、同▲0.03%）、スポーツ用品・本・趣味用品（+0.01%、同 0.00%）と続いた。家電（0.00%、7 月+0.01%）は変わらずとなった。

小売の基調を示すコア小売売上高は、7－8 月に 4－6 月期比年率+5.0%（4－6 月期前期比年率+11.8%）とエネルギー価格の下落等を背景に減速したものの、雇用の拡大、実質給与所得の増加傾向、ワクチン接種の進展等を背景に、比較的高い伸びを維持している。

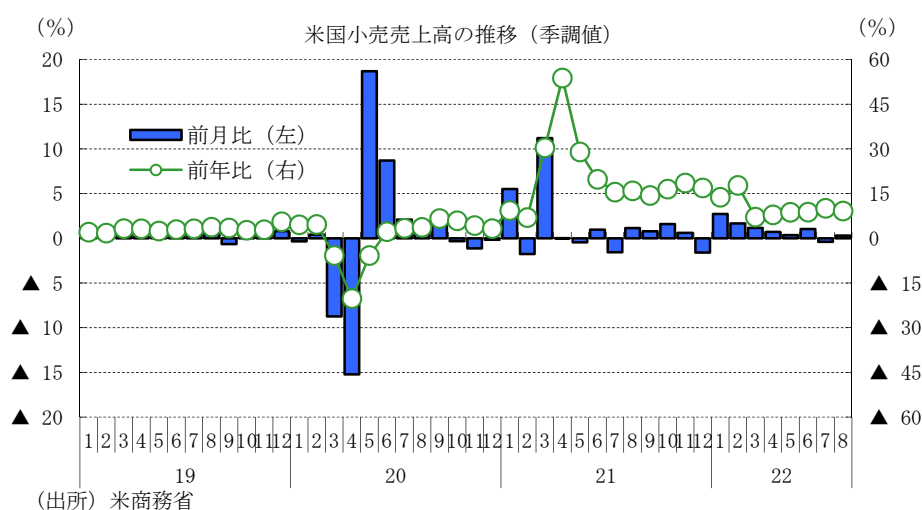
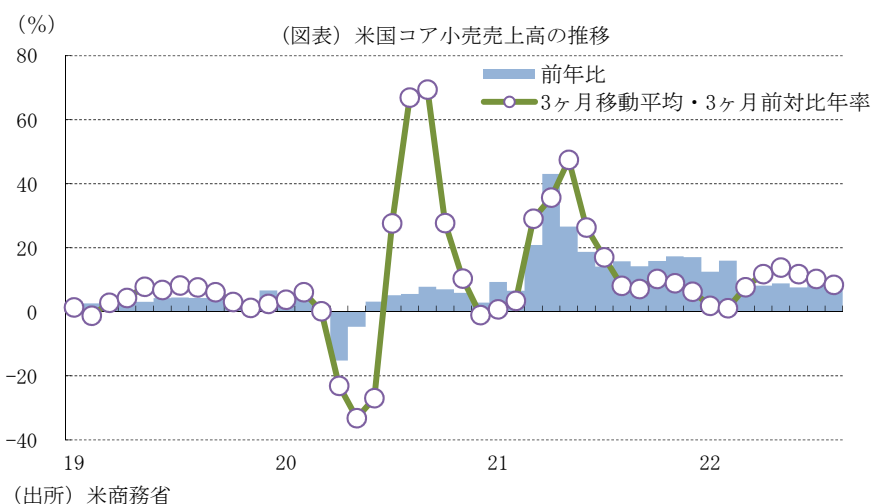
小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

			除く車	耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
				自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン	
21/08	+1.1	(+15.9)	+1.9	▲1.4	▲2.0	+0.9	▲4.7	+2.5	▲1.5	+4.1
21/09	+0.8	(+14.3)	+0.9	+0.2	+0.3	▲1.0	▲0.7	+1.1	+1.4	+3.7
21/10	+1.6	(+16.5)	+1.5	+2.0	+1.9	+1.8	+2.6	+1.6	+0.4	+4.5
21/11	+0.6	(+18.6)	+0.5	+0.4	+0.8	▲0.3	▲11.8	+0.7	+1.2	+2.3
21/12	▲1.6	(+16.8)	▲1.4	▲1.8	▲2.3	▲6.7	▲0.0	▲1.4	▲2.8	+1.3
22/01	+2.7	(+13.7)	+1.6	+5.9	+7.3	+6.9	+0.5	+2.3	+0.4	▲1.8
22/02	+1.7	(+17.7)	+1.7	+1.2	+1.4	+0.9	+3.5	+0.9	+1.3	+6.3
22/03	+1.2	(+7.1)	+2.0	▲1.3	▲2.2	▲0.0	+2.1	+2.1	+2.7	+10.7
22/04	+0.7	(+7.8)	+0.5	+1.2	+1.8	+1.5	+1.6	+0.1	+0.0	▲1.3
22/05	+0.4	(+8.7)	+1.3	▲2.4	▲3.4	▲1.1	▲2.6	+1.6	▲1.4	+5.0
22/06	+1.0	(+8.8)	+1.1	+0.2	+0.6	▲1.2	▲0.5	+1.5	+0.7	+2.7
22/07	▲0.4	(+10.1)	▲0.0	▲1.1	▲2.0	▲0.5	+0.5	▲0.0	▲0.8	▲2.3
22/08	+0.3	(+9.1)	▲0.3	+2.0	+2.8	▲1.3	▲0.1	▲0.7	+0.4	▲4.2

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。